

厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）

「HIV 感染症の曝露前及び曝露後の予防投薬の提供体制の整備に資する研究」

令和 4 年度 分担研究報告書

【研究分担課題名】 本邦における PrEP（曝露前予防）の指針策定に関する研究
研究分担者名：谷口俊文（千葉大学医学部附属病院・講師）

研究要旨

HIV 感染症の曝露前予防（PrEP）の提供体制の整備が急務である。本分担研究では、日本エイズ学会と共同し PrEP の指針を策定し、正しい情報提供の基盤とするとともに、日本での PrEP 導入法についても検討し提言を行う。

A. 研究目的

PrEP 提供体制整備の一環として、日本における PrEP の指針を日本エイズ学会と共同して策定し、現在、公知申請中の抗 HIV 薬ツルバダが PrEP 用に承認された際には、ガイドラインへと発展させる。同時に、海外での導入経験を参考に、日本での PrEP の導入法についても検討し、提言を行う。

B. 研究方法

日本における PrEP の指針策定に関して、すでに草の根で PrEP 使用者は増加していることを踏まえ、日本エイズ学会の協力のもと、医療従事者、コミュニティと共同し、日本の実情を踏まえた PrEP 指針の初年度内の策定を目指す。PrEP が日本で承認された際には、同指針をガイドラインに発展させることを予定している。また、次年度より PrEP の日本への導入に向けた提言について、当研究の先行研究で実施した海外における PrEP 導入事例調査の成果をもとに導入法の検討を行う。最終年度に、検討結果を元に日本における PrEP 導入の提言を行う。

C. 研究結果

令和 2 年度に、諸外国の指針のレビュー・日本語訳などを行い、次年度より日本エイズ学会と共同で、日本の PrEP の指針案および実施体制案を作成し、パブリックコメントを募った。最終年度に、同案をもとに日本の PrEP の指針「日本における HIV 感染予防のための曝露前予防（PrEP）利用の手引き」として策定し、日本エイズ学会 HP 上で公開

し、医療従事者のみならず PrEP に関心のあるコミュニティ関係者への普及に努めた。加えて、分担研究③で作成した PrEP user 向けのガイドとなる「日本における HIV 感染予防のための曝露前予防（PrEP）利用者ガイド」と併せ、ホームページ公開後の 2023 年 1～3 月に、分担研究③と共同して説明会を医療従事者向け、コミュニティ向けにそれぞれ実施した。

D. 考察

PrEP は、MSM において草の根で無視できないレベルで普及しつつあり、PrEP の正しい情報提供とその指針の作成が急務である。日本における PrEP の診療指針は、日本エイズ学会と当研究班が主導しながら、医療従事者、コミュニティの当事者が検討しつつ作成される必要がある。また、PrEP および STI のエビデンスは急速に集積されており、今後も、世界の PrEP の進展と国内の状況を適合したガイドラインに発展させるべきである。

E. 結論

日本においても PrEP の早期導入および指針策定を基盤とした正しい情報提供が必要である。

G. 研究発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし